

いたばし 環境管理ニュース

発行:板橋環境管理研究会

〒173-0005 板橋区仲宿 54 番 10 号

第455号

板橋産連会館

電話:03-3962-0131

FAX:03-3962-0133

(板橋区公式ホームページからも閲覧可能)

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/kankyo/management/1005779.html> ※年7回(不定期)発行となります

今号のトピックス

- 1 区有地を活用した電気自動車のシェアリング事業、
- 2 「板橋区 EV バイクバッテリーシェア事業」
- 3 脱炭素経営セミナーを開催します
- 4 環境関連補助金・支援策情報
- 5 環境管理ニュースについてご意見をお寄せください

区有地を活用した電気自動車のシェアリング事業

1. 概要

板橋区では令和2年12月、区有地を民間事業者に貸し出し、電気自動車(EV)等のカーシェアリング事業を展開する実証実験を開始しました(EV1台、ガソリン軽1台)。また、資源環境部の庁有車を1台分削減し、その代替車として、職員が必要な時に必要なだけ当該電気自動車を借り上げ、環境負荷の低減を図ると同時に、板橋区民にEVを実際に利用するきっかけを提供することが目的に実施してきました。

令和2年度当時はEVがほとんど普及しておらず、区民が乗れる(触れる)機会もない状況でした。



初代ステーション
(板橋区二丁目 68-1)

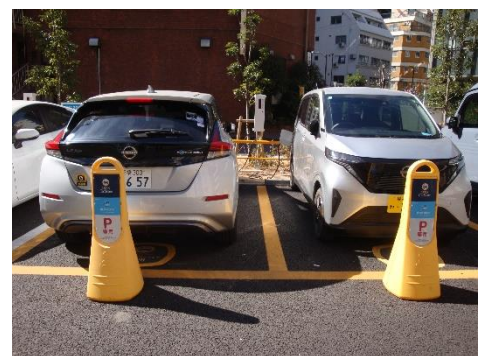
2. 経過

令和2年度から令和5年度の3年間で、月間の利用回数も増加していき、行動変容の効果が見られ、恒常的な利用となり、シェアリングサービスも板橋区民の生活に定着しました。

このことにより令和6年2月から、台数を2台から4台(EV2台、PHV2台)に増台し、より行動変容を促す環境づくりをすることとしました。

これに伴い、カーシェアリングステーションも板橋二丁目 68-1 からGSパーク板橋区役所前(板橋二丁目 61-6※旧保健所跡地)へ場所を移しました。

こちらのカーシェアもどなたでもお使いいただけますので、ぜひご利用ください。



新ステーション (EV)
(GS パーク板橋区役所前)
(板橋区二丁目 61-6)



「板橋区 EV バイクバッテリーシェア事業」

板橋区では「ゼロカーボンシティ」「スマートシティ」実現のため、EV(電動)バイクバッテリーシェア事業を実施しています。

1. 概要

EV バイクは電気の力でモーターを回して走行し、ガソリンを使用しないので走行時の CO2 排出量はゼロのバイクとなっています。東京都では CO2 を排出しない環境先進都市「ゼロエミッション東京」の実現に向け、都内で新車販売される二輪車を 2035 年までに 100%非ガソリン化することを目指しています。その実現へ向けた取り組みを推進していきます。

2. 課題

EV バイクが満充電の状態と、ガソリン満タンのバイクの走行距離を比べると、EV バイクの方が短くなっています。そのうえ、ガソリンスタンドのように燃料を補給できるインフラの整備が進んでいないという課題があります。

3. 事業

バッテリー交換式の EV バイク利便性向上のため、区有地および民有地にバッテリー充電設備を設置し、ガソリンスタンド代わりのバッテリー交換スポット(バッテリーステーション)を展開します。利用者は好きなタイミングでバッテリーを交換することで、走行距離の問題を解消することが期待できます。



利用イメージ

4. 設置状況

現在、区有地のバッテリーステーションは、高島平温水プール駐車場、GS パーク板橋区役所前(旧保健所跡地駐車場)、グリーンカレッジホール駐輪場の3か所となっています。



高島平温水プール
駐車場



GS パーク板橋区役所前



グリーンカレッジホール
駐輪場



脱炭素経営セミナーを開催します

2050年ゼロカーボンシティ特別区をめざして、みずほ銀行と特別区長会の共催で中小企業向けに脱炭素経営セミナーを開催します。

セミナーでは、脱炭素化を巡る最新動向や脱炭素経営を支援するソリューションや他社に先駆けで取り組まれている企業の事例等をご紹介します。

ぜひ、お気軽にご参加ください。



1. 概要

(1) 日 時：3月24日(月)16:00～17:30

(2) 会 場：ハイレブプラザいたばし／オンライン(ZOOM)

※会場または ZOOM ウェビナーによるライブ配信

(3) 内 容：「脱炭素化で競争力強化！～脱炭素化を巡る動向と支援メニュー・取組事例のご紹介～」

◆登壇 経済産業省関東経済産業局総括係長 西島 崇 氏

「CO₂ 排出量の可視化から対外アピールまで、中小企業が取り組む脱炭素」

◆登壇 e-dash 株式会社パートナーサクセス部兼マーケティング部部長 甲斐 綾乃 氏

「Local Decarbonization 板橋のある軽工業事業者の試み」

◆登壇 恵友印刷株式会社 代表取締役 萬上 孝平 氏

(4) 定 員：会場 100 名(先着) オンライン 500 名(定員)

※先着順による定員に達し次第、締め切らせていただきます。

(5) 費 用：無料(事前登録制)

(6) 申 込：下記 URL またはリーフレット記載の二次元コードからお申し込みください。

URL: https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_9Az6b8PzQ-SggXaToPqOTA

(特別区長会セミナー担当区)板橋区資源環境部環境政策課 ☎03—3579—2622

みずほ銀行と特別区長会 MIZUHO × 特別区長会

事前登録制 参加無料 脱炭素経営セミナー

日時 2025年3月24日(月) 16:00～17:30

会場 ハイレブプラザいたばし / オンライン (ZOOM)

2050年ゼロカーボンシティ特別区を目指して、事業者・行政等が一体となった取り組みが重要です。本セミナーでは脱炭素化を巡る最新動向や脱炭素経営を支援するソリューション、他社に先駆けて取り組まれている企業の事例等をご紹介します。是非お気軽にご参加ください。

Program プログラム

16:00 事務局からのご案内

主催者挨拶 板橋区長 坂本 健

第1部 講演

1 脱炭素化で競争力強化！～脱炭素化を巡る動向と支援メニュー・取組事例のご紹介～

登壇 経済産業省関東経済産業局総括係長 西島 崇 氏

2 CO₂ 排出量の可視化から対外アピールまで、中小企業が取り組む脱炭素

登壇 e-dash株式会社 パートナーサクセス部兼マーケティング部部長 甲斐 綾乃 氏

第2部 企業事例紹介

Local Decarbonization 板橋のある軽工業事業者の試み

登壇 恵友印刷株式会社 代表取締役 萬上 孝平 氏

主催者挨拶 株式会社みずほ銀行 社会・産業基盤第一部長 高田 修

お申込み

開催形式 会場または ZOOM ウェビナーによるライブ配信

URL: https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_9Az6b8PzQ-SggXaToPqOTA

2025年3月23日(日) 23:59

会場参加：先着100名様 オンライン参加：定員500名様

※先着順による定員に達し次第、締め切らせていただきます

お問い合わせ (特別区長会セミナー担当区) 板橋区資源環境部環境政策課 ☎3579-2622 へご連絡ください

会場

ハイレブプラザいたばし

住所 〒173-0004 東京都板橋区板橋一丁目55番16号

アクセス

●JR埼京線 板橋駅下車 徒歩1分

●都営三田線 板橋駅下車 徒歩3分

●東武東上線 板橋駅下車 徒歩7分

※お車でご来場はご遠慮ください

※zoomからご参加のお客さまは、お申込のメールアドレス宛にID・パスワードをお送りいたします。

ご留意事項

■セミナーへのご参加方法につきましては、お申し込みいただいた方へのみご案内させていただきます。

■セミナー視聴用のURLは第三者へのご提供はご遠慮ください。

■セミナーの録音・録画等は禁止とさせていただきます。

■登壇者・プログラムは予告なく変更することがございます。また、事情によりセミナーを中止させていただきますことがございます。

■インターネット回線の利用に伴う通信料は、お客さまのご負担となります。

■ご利用の環境やインターネットの回線速度、セキュリティの設定などによって、画質・音質が低下もしくは利用できない場合があります。

■本セミナーへのお申し込みには、お申し込み内容のうち、ご参加者さまの「企業名・部署名・ご役職・お名前」につきましては、本セミナー運営に際して利用目的としてセミナー登壇者へ共有させていただきますので、あらかじめご了承ください。

■本セミナーは脱炭素経営に関する情報提供を目的としており、特定の取引の勧誘・取次等を強制するものではありません。

環境関連補助金・支援策情報

2024(令和6)年度に実施される環境関連の補助金・支援策情報(主に事業所向け)の一部をご紹介します。詳細については、実施団体のホームページ等をご確認ください。

1. 使用済住宅用太陽光パネルリサイクル促進事業

使用済住宅用太陽光パネルのリサイクルを促進するため、都が指定する産業廃棄物中間処理施設で太陽光パネルのリサイクルを行う排出事業者、または排出事業者に委託した所有者に対し、リサイクルに要する費用の一部を補助します。

(1) 申請期間

令和5年6月1日から令和9年9月30日まで

(2) 予算規模

1 億円

※ 太陽光パネル高度循環利用の推進事業の総額です。

(3) 補助対象者

使用済住宅用太陽光パネルの取り外し及び廃棄を、

①住宅用太陽光パネルの所有者から請け負った排出事業者(※)

②排出事業者に委託した住宅用太陽光パネルの所有者

※ ハウスメーカー、リフォーム業者、解体工事業者など

(4) 補助対象事業

都内の住宅から排出される使用済住宅用太陽光パネルをリサイクルするため、令和5年4月1日以降に、都が指定する産業廃棄物中間処理業者(※)に使用済住宅用太陽光パネルの処理の委託を行う事業であって、補助対象者が排出事業者の場合にあっては、次の要件を全て満たすもの。

(1) 住宅用太陽光パネルの所有者へ、使用済住宅用太陽光パネルをリサイクルすることを説明すること。

(2) 住宅用太陽光パネルの所有者へ、使用済住宅用太陽光パネルのリサイクルについて本補助金を受給することを説明すること。

●都が指定する産業廃棄物中間処理業者リスト

中間処理業者の名称	施設所在地	補助対象処理日
株式会社アロウズ	茨城県筑西市	令和6年4月1日 以降
株式会社ウム・ヴェルト・ジャパン	埼玉県大里郡寄居町	令和5年4月1日 以降
環境通信輸送株式会社	茨城県牛久市	令和5年4月1日 以降
J&T環境株式会社	群馬県伊勢崎市	令和6年4月1日 以降
東京パワーテクノロジー株式会社	神奈川県川崎市	令和5年4月1日 以降
株式会社浜田	東京都大田区	令和5年4月1日 以降
水海道産業株式会社	茨城県常総市	令和5年4月1日 以降
株式会社リーテム	茨城県東茨城郡茨城町	令和5年4月1日 以降

※ リストの「施設所在地」で処理した場合のみ補助対象となります。

リストの「補助対象処理日」に処理をしたものが補助対象となります。

(5) 補助対象経費

使用済住宅用太陽光パネルを都の指定する産業廃棄物中間処理業者においてリサイクルするために係る処理費

(6) 補助金額

使用済住宅用太陽光パネルの発電出力(kW)に25,000円を乗じた額(※4)

※ 使用済住宅用太陽光パネルの発電出力はkWを単位とし、小数点以下第3位を切り捨てた値とします。(1,000円未満の端数が生じたときは、切り捨て)

(7) 制度の詳細と問合せ先

制度の詳細については、下記ホームページを参照または下記連絡先へお問い合わせください。
公益財団法人東京都環境公社 東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)
使用済住宅用太陽光パネルリサイクル促進事業担当 ☎03-5990-5343
<https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/pvrecycle>

環境管理ニュースについてご意見をお寄せください

「いたばし環境管理ニュース」は、事業所における環境保全を推進するため、来年度も継続して実施する予定です。さらに皆様のご意向に沿った内容にするため、「いたばし環境管理ニュース」に掲載してほしい記事や改善点、ご要望やご感想などを、下記連絡先までお寄せください。

こちらのページをそのまま下記までお送りいただくか、ページ下部に記載の二次元コードからご意見をお寄せください。

ご協力お願いいたします。

板橋区 資源環境部	環境政策課	スマートシティ・環境政策係	宛
F A X	0 3 - 3 5 7 9 - 2 2 4 9		
E - mail	s-kankan@city.itabashi.tokyo.jp		
住 所	〒173-8501		
	東京都板橋区板橋二丁目 66 番 1 号		
	板橋区役所本庁舎北館 7 階		

1 環境管理ニュースはどちらでご覧になりますか。

- ①職場(環境管理研究会会員) ②区施設(区役所・エコポリスセンター・企業活性化センター)
③その他()

2 環境管理ニュースは役に立っていますか。

- ①役に立っている ②どちらかといえば役に立っている
③どちらかといえば役に立っていない ④役に立っていない

3 (2で③、④とお答えの方)役に立っていない理由がありますか。

[]

4 環境管理ニュースの内容等について、改善点・ご要望等がありますか。

[]

5 今後取り上げてほしい内容がありますか

[]

6 その他ご意見がございましたらご記入お願いいたします

[]



◀ こちらの二次元コードからもご回答いただけます。

ご協力ありがとうございました。